

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公表番号】特表 2020-529630 (P2020-529630A)

【公表日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2020-505413 (P2020-505413)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/33 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 L 33/62 (2010.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/33

G 0 9 F 9/30 3 3 0

G 0 9 F 9/00 3 5 1

H 0 1 L 33/62

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 30 日 (2021.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

そして、図 5 を参照して、第 1 および第 2 青色チップ実装部 1 2 2 , 1 2 4 の垂直構造について説明する。基板 1 1 0 上に第 1 および第 2 基板電極 1 1 7 a , 1 1 7 b が配置される。そして、第 1 および第 2 基板電極 1 1 7 a , 1 1 7 b 間に絶縁部 1 1 8 が配置される。絶縁部 1 1 8 は、第 1 および第 2 基板電極 1 1 7 a , 1 1 7 b が互いにショートすることを防止するために配置される。また、図 5 に図示してはいないが、基板 1 1 0 上部に水平配線部 1 1 2、第 1 ~ 第 3 垂直配線部 1 1 4 a , 1 1 4 b , 1 1 4 c および配線延長部 1 1 6 の上部に絶縁部 1 1 8 が配置されてもよい。それにより、絶縁部 1 1 8 によって水平配線部 1 1 2、第 1 ~ 第 3 垂直配線部 1 1 4 a , 1 1 4 b , 1 1 4 c および配線延長部 1 1 6 が外部から保護され得る。そして、第 1 基板電極 1 1 7 a は水平配線部 1 1 2 と電氣的に接続され、第 2 基板電極 1 1 7 b は第 1 垂直配線部 1 1 4 a の配線延長部 1 1 6 と電氣的に接続することができる。